

# わたしたちの人權

86

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが「人權」です

## あなたも、ぜひ参加を 5・23差別をなくす山都地区集会

この集会は、部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となりながら、大人も共に学び合う集会です。

昨年の集会では、一般参加者を対象に初めてアンケート調査を実施しました。回答があった約100件の中から、一部を抜粋して紹介します。

### 第17回 5・23差別をなくす山都地区集会

差別のない明るい町づくりを推進するために、「第17回5・23差別をなくす山都地区集会」が次の日程により開催されます。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

■日程 / 平成24年5月26日(土)  
 午前8時45分 アトラクション(矢響太鼓)  
 午前9時00分 開会(うたごえ)  
 主催・共催団体代表挨拶  
 問題提起、決意表明  
 集会宣言・スローガン採択  
 閉会(うたごえ)  
 午前11時00分  
 ■場所 / 矢部中学校体育館

○子ども達がこれだけ差別をなくそうと思っ  
 ているので、その想いを大人が受け止めていかなければならない。子ども達に差別心を植え付けるのは周囲の大人だと思  
 うので、もっと多くの大人の方に参加して欲しい。  
 (20代・男性)  
 ○子ども達の発表は力強く頼もしく思いま  
 す。一人一人の人間を大切に  
 する人権感の  
 高い子どもが育つよう願っています

○差別は被差別部落だけに  
 向けられるものではなく、日常生活のあらゆる状況の中に起りえるもので  
 す。人は誰でも弱いところ  
 があります。弱い立場にある人を支え合う心を持つ  
 ことも大切です。この会で、差別について考える意味は深いと思います。  
 (40代・女性)  
 ○初めて参加して子ども達の  
 発表や意見を聞き、子ども達  
 はしっかりしているなあと  
 思いました。私達大人も差別  
 のない町をつくらなければ  
 ならないです。  
 (60代以上・女性)  
 ○子ども達を育てていく責  
 任は大人にあると思いま  
 す。自分一人でも、おかし  
 いことはおかしいと言  
 える人になりたいです。  
 (50代・女性)  
 ○2回目の参加ですが、本  
 日新しく学んだことがた  
 くさんありました。子ども  
 達の作文や発表を聞いて、  
 「生まれながらに差別心  
 を持っている」という  
 のは絶対ないと、改めて  
 感じました。正しく学

ぶことで正しい認識・人  
 権感覚が身につくと思  
 います。私たち大人は、子  
 どもたちに教える前にま  
 ず、自分自身はどうか、  
 再度見つめなおす必要が  
 あるように思いました。  
 (30代・男性)  
 ○社会人となり、久々に参  
 加しました。人と人は平  
 等であり誰一人差別され  
 ることはできないと強く  
 思うようになってい  
 きました。これからもその  
 気持ちで、しっかりと行  
 動で表したいと改めて思  
 います。  
 (20代・女性)  
 ○来民開拓団(くたみかい  
 たくだん)「注1」を送  
 った思想と、「部落がなく  
 なければ差別はなくなる」  
 という思想は全く同じ  
 だと思っただけ、何が正  
 しいか、自分の頭でかん  
 がえることが大切。真  
 実を伝えることが大人  
 の使命だと感じた。  
 (40代・男性)  
 ※〔注1〕来民開拓団とは、熊  
 本県内のある被差別部落  
 住民によって組織された、  
 満州開拓団の一つです。日  
 本の第二次大戦敗戦時に、  
 日本軍の警察から見捨て  
 られ、地元民の襲撃を受け  
 て集団自決しま

した。276名中生き残った  
 のは1名だけでした。  
 ○毎回参加しておりますが、  
 本心に心温まる日であり  
 ます。子ども達の素直な、  
 清らかな気持ちは毎日の  
 私達の暮らしに力を与え  
 てくれます。明るい町づ  
 くりのために、みんな  
 ががんばろう。  
 (60代・男性)  
 昨年のアンケートでは、  
 このように「参加して良  
 かった」という意見がた  
 くさん寄せられています。  
 今年も子ども達の元気な  
 発表があります。大人  
 のみなさんも、ぜひ参  
 加して、共に学



昨年の5・23集会で元気に歌う子ども達

### 季節のうた

▼清和短歌会  
 TPTP森しきなり大櫓泰然と生ち孫就農す  
 早春の寒さにめげず選挙力一走る村里人疎らなり  
 「只今」の孫の帰宅が聞きとれずただ待ちいたり難聴の吾れ  
 裾原 徹  
 渡辺 辰男  
 原田由紀子  
 ▼馬見原酔山会  
 芹を摘む白寿の膳のひと品に  
 トラクター畑に現れ春動く  
 卒園式子等の眼は指揮棒へ  
 草樹 萌  
 高田ゆかり  
 大西久美子  
 ▼色紙の雪の結晶切りもして  
 ひたすらに学ぶものあり梅の花  
 殉教の島の菜の花明らかな  
 六十五年の思い出胸に抱きつつ残りし  
 独り除夜の鐘聞く  
 今村 芳子  
 田代 エミ  
 古閑比奈子  
 ▼通潤句会  
 植木市薩摩なまりも添へられし  
 れんぎょうの黄の広がり空晴るる  
 菅 清次郎  
 広津真知子

### 5月の当番医

5月6日 野田 医院 (電話 72-0307)  
 5月13日 矢部広域病院 (電話 72-1121)  
 5月20日 瀬戸 病院 (電話 75-0111)  
 5月27日 蘇陽 病院 (電話 83-1122)

## 山都町の人口

(平成24年3月31日現在)

男 8,494人 (-60)  
 女 9,069人 (-73)  
 計 17,563人 (-133)  
 世帯 6,725戸 (-28)

※( )は前月比  
 ※最高齢は106歳〔女性1人〕  
 ※1月1日～3月31日の出生届数  
 21人(うち3月は7人)  
 ※1月1日～3月31日の死亡届数  
 93人(うち3月は39人)

### 若い方のお仕事探しはジョブカフェ

県では、上益城地域振興局総務振興課前に「ジョブカフェ・上益城  
 プランチ」を設置しています。就職に関する相談などについて、  
 お気軽にご利用ください。

#### 利用できる方

おおむね35歳未満の方又は保護者の方  
 学校の進路指導担当の先生方

#### お手伝いの内容

○就職に関する相談 ○職業適性診断 ○求人に関する情報提  
 供・求人の開拓 ○出前相談

「ジョブカフェ・上益城プランチ」  
 連絡先 Tel 096-282-1013

### 編集後記

新年度が始まりました。新入生に  
 新入社員、新たな環境で新しいこと  
 を始めた方も多いことでしょう。24  
 年度予算のもと事業がスタートしま  
 す。広報やまとの担当は変わらず頑  
 張ります。 F

書道  
 魄示沖順辰通  
 久子 仁  
 和光教室書道部の宮谷文子さん(鶴ヶ田) 作